

| | |
|------------|---------------------------------|
| 対象案件 | 学校給食のあり方に関する基本方針(案)について |
| 意見募集期間 | 平成29年12月20日(水)から平成30年1月18日(木)まで |
| 担当部署(問合せ先) | 電話 011-373-2487 |
| 意見提出件数 | 意見提出者数 2人 |
| | 意見提出件数 2件 |

| 提出のあった意見の概要 | 市の考え方 (案を修正したときは修正内容) |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・昼近くなると美味しいにおいが教室に漂ってくること。 ・調理人の作業を身近に見ることが食育に繋がること。 ・きめ細かなアレルギー対応が可能なこと。 ・災害時に、各学校に調理場があることは地域住民にとって心強い。 <p>等の理由により、調理場新設の際は自校方式か最低でも親子方式が望ましい。</p> | <p>整備予定の調理場の運営方式につきましては、自校方式・親子方式・センター方式の各メリット・デメリットを含めまして、学校給食運営委員会から意見をいただいたところです。</p> <p>基本方針(案)では、当市の現状や将来的なまちづくりの観点から、「施設整備においては、センター方式を基本に検討することが望ましい」とした次第です。</p> <p>この度いただきました貴重なご意見につきましては、今後の安全・安心な給食を提供していく上で参考にさせていただきます。</p> |

| <p style="text-align: center;">提出のあった意見の概要</p> | <p style="text-align: center;">市の考え方 (案を修正したときは修正内容)</p> |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 食缶等の工夫による温かい食事の提供について 2. 磁器や陶器の食器導入について 3. お箸の素材を天然素材にしてほしい 4. 石けん使用の食洗機導入について 5. 働きやすい調理場の実現のための要望について 6. スチームコンベクションオーブン導入について 7. ごはん中心の献立を導入してほしい 8. 残さのリサイクルをすすめてほしい 9. 放射能検査等の実施について | <ol style="list-style-type: none"> 1. 最新の食缶を導入することで、温かい食事の提供が可能と考えております。 2. 重量増により配膳台の更新も必要となることから、導入方法も含め、研究してまいります。 3. 洗浄後再利用でき、安全な素材を使用してまいります。 4. 現段階では食洗機には石けんは不適とされており、機器に対応したカセット式の洗剤を使用しております。 5. 調理場設計の際は現場の意見等も参考にさせていただく予定です。 6. 新調理場建設の際は、導入予定です。 7. 日本型食生活につきましては、今後も継続して検討・研究してまいります。 8. 他市町村の事例を参考に研究していきますが、現在、生ごみは下水処理センターの処理施設で処理しており、発生するバイオガスは下水処理センターの燃料に、また、乾燥汚泥としても利用されているところです。 9. 現在、国が実施している放射能検査を経た食材を使用しております。 |